

# 令和元年度教育事業 教員免許状更新講習



## 1. ねらい

学校における自然体験活動や集団宿泊活動は、子どもたちの豊かな人間性や社会性の形成及び基本的な体力や心身の健康の保持・増進、望ましい人間関係の形成など、教育効果の高い取組として実施されている。本講習では、児童・生徒に指導する上で必要となる知識・技能の習得とその効果について理解し、活動の全体的な流れを把握すると共に、各自の役割を認識し、各校で自然体験活動の普及・啓発に努める力を育成する。

## 2. 実施日

7月22日(月)～7月23日(火) 1泊2日

## 3. 対象者

主に幼稚園・小学校・中学校教諭・養護教諭

## 4. 参加者 / 募集定員

26名 / 40名

## 5. プログラム(要約)

本講習は「教員免許状更新講習」の選択講習(12時間)として奈良教育大学と連携して実施したものである。本講習では、自然体験活動の教育課程上の位置づけや各教科との関係、体験活動の効果や重要性について、実践事例を通して確認するとともに、学校でよく行われている野外活動(キャンプファイアー、野外炊事など)について、実習を通して最新の知識や技能、指導法を習得できるプログラムとして構成した。

### スケジュール

7月23日(月) 1日目

開講式 オリエンテーション

【講義】「学校における自然体験活動の実際」

【演習】「野外活動の指導法」：自然発見・キャンプファイアー

7月24日(火) 2日目

【演習】「野外活動の指導法」：野外炊事

【講義・演習】「学校教育における自然体験活動の普及・啓発」

修了認定試験・閉講式・アンケート記入

## 【1日目】

開講式の後、宇陀市立室生中学校長、南 勝久氏を講師として「学校における自然体験活動の実際」と題して、自然体験活動の在り方や意義、教育課程との関わりについて講義を受けた。

午後は野外活動の指導法として、当施設で実施している森林調査隊のプログラム体験の後、地球元気村自然学校の校長、奥田 博講師より「自然と生活」「森のレストラン」「木こりの親方」のプログラムを体験した。参加者は、「クロモジ」の枝を使ったクラフトで楊枝を作ったり、「首爾の香り」をテーマに小さいいけ植をしたりする中で、自然に親しみ、五感を使って自然を体感することができた。

夜は、キャンプファイアーの演習の後、キャンプファイアー等の意義や指導法について研修した。



## 【2日目】

野外炊事の実習を行った。薪割りの指導におけるポイントや、リスクマネジメントについての講義の後、参加者は「エコ調理」をテーマとして ①水の節約 ②生ゴミの減量 ③残飯の3つの観点から工夫しカレーを調理した。

午後は、校種別のグループに分かれ、園や学校で自然体験活動の計画を作成する場合の留意点を意識してプログラムを組み立てた。どのグループからも、講習で得た知識が生かされた計画となっていた。また、各校種とも積極的に意見を出し合いながら作業を進めていた。

最後は、修了認定試験と閉講式で終了となった。



## 6. まとめ

本講習では参加者が、与えられた役割を果たすことで意欲的に取り組めた。また、それぞれの活動においてグループを変えたことで、校種の垣根を越えた交流がみられた。事後アンケートでは、「自然体験活動と自己肯定感との実証的な関係を学べ、大変有意義だった」「今回参加して実態に合わせて目標や活動内容を決めていくのは大事だと思った。新たな視点で、校内で提案していけそうです。」等、本講習を通しての新たな学びや意識の変化が感じられた。

(企画指導専門職 曾和 良友)